

新・東の風

令和3年度
6月号

緊急事態宣言が6月20日（日）まで延長となりました。昨年は4、5月の学校休業の後、分割登校で新学期が始まったことを思えば、今年は通常授業を行えているので、まだ幸せです。

しかし、クラブ活動は原則禁止で、公式試合の控えているクラブのみ1時間ですが活動を行っています。男女バスケットボール部、ソフトテニス部、コーラス部、文芸部、1年生の皆さん、もう少し辛抱してください。

この間、一人1台のタブレットが大阪市教育委員会より支給され、オンライン学習をするようにと指示がありましたが、色々な課題（通信環境の整備・充電器の確保・授業数の保障・学習内容の整備等）があり全ての生徒が使いこなすようになるには、まだまだ時間がかかります。

オンライン学習をすすめる中で、岡本先生が担当する音楽授業に興味がありました。昨年から感染症拡大防止の観点から、歌唱やリコーダー演奏に制限がありました。そのことから、実験的にオンラインでリコーダーの授業ができるかを試みてみると、生徒たちの演奏するリコーダーの音が各家庭から発信され、音楽室で確認できました。

また、コーラス部の活動も自粛しているため、一度オンラインでコーラス部の活動を行いました。結果、少しだけクラブ活動ができたのも収穫です。

今できることをみんなでアイデアを出し合い、近未来の学校教育に残されないよう、チャレンジする姿勢は大変良かったと思います。



学校行事である、「修学旅行」・「運動会」は緊急事態宣言延長により、2学期に延期します。日程は現在調整中ですので、決まりましたらお知らせします。

コロナウイルス感染症も変異株が広がっており、まだまだ実態がつかめず、また、ワクチン接種もようやく高齢者から始まったばかりで、油断できません。大事な命にかかわることなので慎重に生活を送ってください。

学校生活においては、「ソーシャル・ディスタンス」、「3密」、「換気」、「消毒」が大事なキーワードとなりますので、もう一度意識してください。

「新しい学校生活」、「新しい生活様式」に十分に対応はできていませんが、これからの求められている力、「自分で考え、生きぬく力」をつけるため、ピンチをチャンスと捉えてみましょう。

「人と比較をして劣っているといっても、恥ずることではない。けれども、去年と今年の自分とを比較して、もしも今年が劣っているとしたら、恥ずべきことである。」（松下幸之助）